

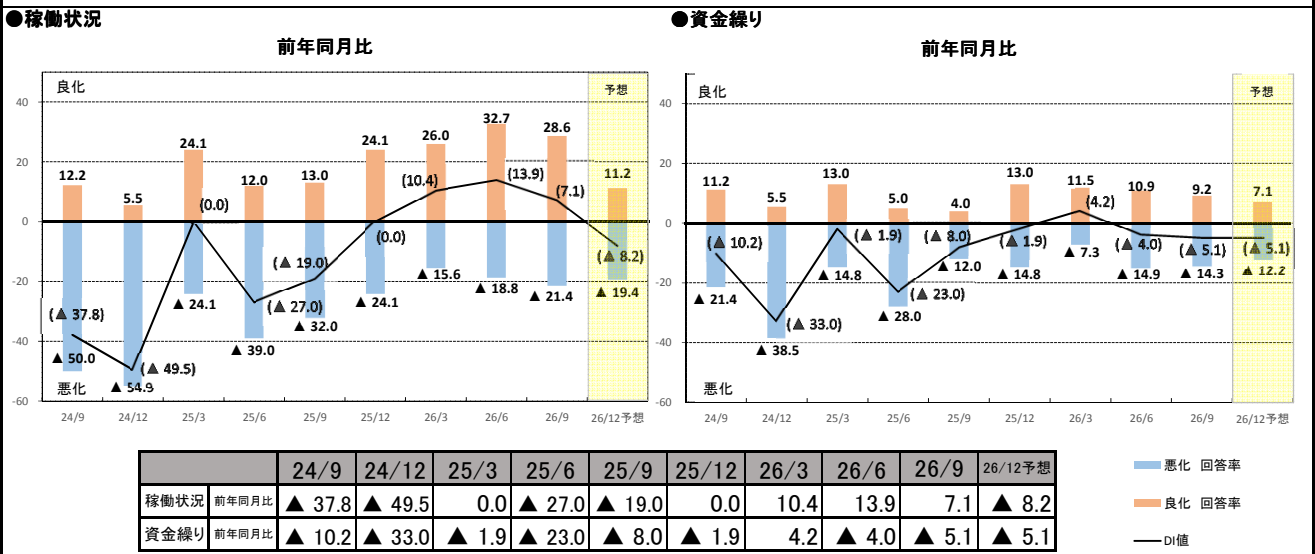
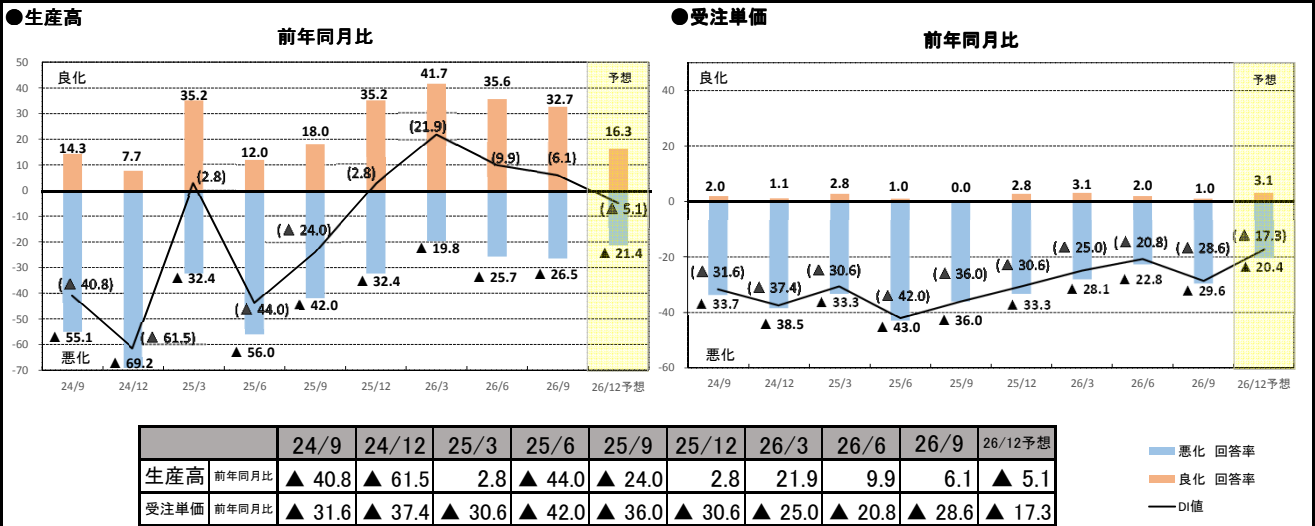
受注企業動向調査結果

-2014.10-

- 調査時点 平成26年9月調査(平成26年9月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 98社(回答率: 65.33%)

<業種内訳>	
プラスチック	8社
鉄鋼・非鉄	8社
金属製品	20社
一般機械器具	22社
電気機器	17社
輸送用機器	7社
精密機器	9社
縫製	7社
計	98社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。



●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)DIは(6.1)で前回(9.9)から3.8ポイント減の悪化となった。
- ・受注単価DIは(▲28.6)で前回(▲20.8)から7.8ポイント減の悪化となった。
- ・稼働状況DIは(7.1)で前回(13.9)から6.8ポイント減の悪化となった。
- ・資金繰りDIは(▲5.1)で前回(▲4.0)から1.1ポイント減の悪化となった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が(▲5.1)で11.2ポイント減、稼働状況が(▲8.2)で15.3ポイントの減で大幅悪化、受注単価は(▲17.3)で11.3ポイント増の良化、資金繰りは(▲5.1)で不変という予想になった。
- ・電気料金値上げや円安による原材料の高騰などで受注企業が負担する生産コストは増加しており、厳しい受注環境が続いている。